

各団体による野菜の消費拡大の取組について

会 員 名	取 組 概 要
社団法人日本栄養士会	<p>野菜を食べようーメタボ撲滅ーキャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン強化月間の設定 野菜の日である8月31日がある8月をキャンペーン強化月間として、事業を募集して実施。 農林水産省が実施している夏ベジプロジェクトにも参加。 ・「栄養相談・食生活相談」の実施 キャンペーン強化月間である8月を中心に、14都府県栄養士会の協力を得て21会場で、管理栄養士による「栄養相談・食生活相談」事業を実施。 今後の予定：4東京都(11月)、神奈川県(11月)、京都府(11月)、長崎県(11月) ・野菜の機能性を盛り込んだ指導用冊子「ヘルシーダイアリー」の作成 野菜の機能性を盛り込んだ「ヘルシーダイアリー」を作成し、「栄養相談・食生活相談」事業で指導媒体として使用。 ・「野菜を食べようーメタボ撲滅ーシンポジウム」の開催 野菜の日である8月31日に、ヤクルトホールにおいて、一般の方を対象に「野菜を食べようーメタボ撲滅ーシンポジウム」を開催した。参加者552名。 ・「野菜を食べようーメタボ撲滅ー」に関するステートメントの策定 野菜の摂取拡大・消費拡大により、生活習慣病を予防することを目的として、「野菜たっぷり350(サンゴーマル)」運動宣言を策定し、「野菜を食べようーメタボ撲滅ーシンポジウム」で発表。 ・「もっと知りたい「野菜と植物性乳酸菌」セミナー」の開催 都道府県栄養士会の協力を得て、全国10会場で、「もっと知りたい「野菜と植物性乳酸菌」セミナー」を本会会員を対象として開催。 今後の予定：三重県(11/20)、広島県(12/4)、熊本県(1/29)、山梨県(2/5)、栃木県(2/13)
一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子供を対象とした取組 <ul style="list-style-type: none"> ○スーパーマーケットでの園児向け食育体験プログラムの実施 ○保育園での給食事業者が実施する食育プログラム 2. 大人を対象とした取組 <ul style="list-style-type: none"> ○従業員食堂における野菜摂取啓発活動(12月、1月) ○給食事業者による企業での食育セミナー(1月) 3. 店舗、外食での取組 <ul style="list-style-type: none"> ○シダックスのカラオケ施設を利用した親子食育教室(11月) ○レストランCASA(西洋フードコンパス社)での親子食育教室(11月) ○地元生産者と連携し、スーパーマーケットのスペースを利用した消費者の直販の取組(1月)
社団法人全国中央市場青果卸売協会	<p>(注)全国中央市場青果卸売協会では、国内産の野菜・果実の消費増進に努める観点から、毎年、会員卸売会社からの会費負担の協力を得て青果物の消費拡大対策予算を計上し、野菜関係では国産野菜の消費拡大のための事業を推進するNPO法人青果物健康推進協会に対し協力金を支出し、同協会が行う消費拡大事業の支援を行っています。</p> <p>また、青果物卸売会社は全国各地の産地から出荷された青果物を荷受けし、卸売市場内において仲卸業者や小売業者を取引相手として販売する営業行為を行っているため、通常、一般消費者と直接交流する機会はほとんどありませんが、全国各地の中央卸売市場で地元市民を対象に開催している「市場まつり」(多くは秋に開催)等のイベントにおいて、市場開設者、卸売業者、仲卸業者、小売業者等市場関係者が一体となって、食育や青果物消費拡大のためのPR活動に取り組んでいます。</p>

①企業の健康管理部門等との取り組み

- ・NTTデータ
9月～10月に簡単野菜クッキングセミナー開催(8事業所、12回実施)
11月からメールマガジンを配信し、11月末にネット検定試験を実施
合格すると「野菜マスター」を認定
→認定者には義務と権利が与えられ、
「義務」→10人に啓発リーフレットを渡してこれまで勉強したことを伝える
(無関心層への啓発が目的)
「権利」→岸朝子の外食認定店でのインセンティブあり。
- ・カシオ健保
仙台営業所、八王子営業所、大阪営業所で研修会を開催し、メールマガジン配信、
検定試験実施
- ・キヤノンファインテック
三郷中央本社で17日、19日に研修会。その後、メールマガジン配信。
- ・大阪・淀屋橋住友ビル
食堂会社の阪急産業とコラボで研修会を開催(11月24日、12月26日に開催)
- ・食堂会社の魚国総本社とコラボで種苗会社のタキイ種苗で研修会開催。

②従業員食堂会社の(野菜摂取の多い)優良食堂を認定

- ・現在、認定基準の策定中
- ・岸朝子名で認定証を授与する予定

③野菜摂取拡大に寄与するスーパーになるための研修会の開催

東急ストア全店青果担当マネージャー等、ダイエー関東地区75店舗の青果担当課長を対象に毎月1回実施。

- ・内容
お客に支持される売場の条件、優良事例、野菜摂取拡大につながる売場作り、食生活改善の提案、食べ方提案など
ダイエー→全5回実施 効果検証は、事前事後のアンケート実施
東急ストア→全3回実施 効果検証は、事前事後のアンケート実施のほか、モデル10店舗で事前・事後の売場変容調査を実施。
また、全店で覆面リサーチを実施し、策定した基準をクリアした店舗を「3級認定」する。

④小学校、教育委員会等と連携した食育活動の実施(小学校高学年対象)

【補助事業の部】
これまで、奈良県平群町、練馬区、荒川区、富山県入善町、北海道北見市で出前授業と教諭、栄養教諭、家庭科担当教諭らが参加した研究会を実施。
今後は、和歌山県和歌山市教育委員会、沖縄県南城市教育委員会、渋谷区教育委員会、熊本県宇城市、大田区家庭科研究会と連携して出前授業、研究会を実施予定。
出前授業のテーマは、「野菜博士になろう」「地元の野菜を知ろう」

【自主事業の部】
JAグループ・全農とコラボによる食育出前授業の実施実施都道府県
…徳島県、栃木県、東京都、兵庫県、秋田県、茨城県、神奈川県、岡山県、福岡県、高知県、岩手県、新潟県、滋賀県、大阪府、鳥取県

【県本部と共同の部】
全農ふくれんと連携して、東京都、神奈川県内の小学校で出前授業を実施(10校での実施を予定)「野菜の旬」をテーマに、産地リレーを説明し、この時期の旬の産地として福岡県の青果物を紹介

⑤野菜の価格低落時の緊急の消費喚起事業

(=エマーゼンシー・ベジタブル・サポート・プロジェクト)
消費者らに情報を発信し、消費者らを巻き込んだ野菜の消費拡大プランタレントの長谷川理恵さんを起用したwebを設置し、積極的な情報発信を行うわか、野菜のレシピを集める仕組みを構築し、効果的な発信を行う。

⑥大学生らを対象に、各大学でセミナーやイベントなどを実施

全農と共同で実施 11月17日の筑波大学でのセミナーをスタートにお茶の水女子、純心女子大、栄女子養大などを予定

⑦岸朝子の「野菜がおいしゅうございます認定」事業の継続実施